参考様式第５－２号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	~~令和7年12月16日~~　令和8年11月　日 ~~（第3回）~~　（第4回）
目標年度	令和15年度
市町村名 （市町村コード）	伊万里市 41205
地域名 （地域内農業集落名）	大坪地区 （　屋敷野、永山、白野、上古賀、下古賀、六仙寺、西円蔵寺、 富士町、渚、新天町、中井樋　）

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

１　地域における農業の将来の在り方

（１）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	~~94.9~~ 95.2 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	89.6 ha
②　田の面積	~~86.3~~ 86.7 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	8.5 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	16.4 ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注１：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
　２：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
　３：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
　４：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
　５：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
　６：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（２）　地域農業の現状及び課題

・本地区には、大坪地区７集落、立花地区４集落の１１集落があるが、市の中心市街地を含む地域であり、宅地やアパートの建設など農地以外への転用が多く見られる地域である。各集落に生産組合があるものの、近年では農業者の減少や宅地等への転用から生産組合を解散する集落も出てきている。
・大坪地区は水稲が中心であるが、一部の集落で認定農業者が麦などの裏作を行っている。また、地区内には2つの国営団地があり、古賀団地については認定農業者が畜産を営んでいる。今岳団地については、稲作のほか、玉ねぎやかぼちゃなどの作付けがなされているが、荒廃農地も一定数見受けられる。屋敷野集落、上古賀集落、下古賀集落が中山間地域等直接支払交付金制度に取り組むことで農地を維持管理しているが、後継者は不足している。また、上古賀・下古賀集落の一部の農地については集落営農の仕組みにより農地を維持している。永山集落については、地区内を将来的に西九州自動車道を通る計画となっており、集落から離れた農地を中心に営農を行う。白野集落、六仙寺集落、西円蔵寺集落については地区内に農地はあるものの、周辺集落からの入り作が主となっており、それぞれの集落での農業者は少なく、後継者がいない。
・立花地区は水稲が中心。市の中心市街地を含む地域であり、地区内に基盤整備がなされた農地は少ない。当地区には、富士町集落が中山間地域等直接支払交付金制度に取り組んでおり、補助事業の活用により農業生産活動や農地の保全管理が行われているが、年々構成員が減少している。渚集落については地区内に農地が点在しているものの、地区内のため池が使用されなくなるなど、営農が縮小傾向にある。また、新天町集落、中井樋集落については、農業者の減少から令和6年度に生産組合を解散している。

